

特別工作

其四

討伐主任兼陸北却中佐の特別工作部長の兼勤の左記

特別工作隊其他の指揮に肅正計画の指示を主として基中工

作を実施し、並に情報報、蒐査、宣傳、謀略、帰順工作ニ

多大の成果を奏せり

第一工作隊ノ行動

長島富兵衛隊長トナリ日本富兵衛若干名其他の捕縛人

或は投降帰順者ヲ以テ工作隊各ト特設隊ヲ編成第一期同

陸軍

ハ主トシテ通化吾稱地区内ニアリテ揚成宇、方振声、魏極民

其他ノ匪賊ニ對スル工作ニ從事セシメ第二期以後ニ於テハ同島

省方面ニ移動シ主トシテ金日成、魏極民等ヲ目標トシテ工作

ヲ實施シ多クノ成果ヲ奏揮セリ

特ニ庄五然、趙匪ノ帰順、方振声、王長勝匪ノ逮捕其他匪用

ニ對スル宣傳、情報蒐査等、外利長工作等本工作ニ負フ所

大方

五、第三工作隊ノ行動

敬告務司田中整備部長ヲ隊長トシ日鮮系勲官案官若干

滿鮮人及口婦順投降或ハ逮捕セシム以テ工作隊並ニ

特設隊ヲ編成シ第一期ニ於テ同島及ヒ吉松地区ニ於テ全

日成林得竹紀、陳、齋、章、其他有力匪徒ニ對シ第二期以後

ニ於テハ山佳所員、全克其他ニ對シ工作ヲ實施シ多大ノ效果

ヲ發揚セリ

第一期末、齋、皓ニ依リ林得竹紀ヲ逮捕シテ三期ニ於テハ全克ヲ

帰順セシムル等、匪徒ノ分裂工作、情報蒐集、對匪宣傳

陸軍

三頁、献る所大ナリ

註

對匪謀略成功ノ例

朴得範逮捕ノ爲實施セシ謀略ノ概況左ノ如シ

朴得範匪ノ属者、本龍衣ニ来ル同島省某部落ニ解人工作

負ク配置シ置キ該匪来ラハ偽テ匪団ニ合流ス如ク指示ス

一九四〇

其年四月某日予想ノ如ク朴得範匪来龍衣ニ来ルヤ解

人工作負ハ該匪団ニ合流スルヲ成功ス 彼ハ合流後信

用ヲ得ル爲極大ニ其面目ニ働キアリ之爲月余ニ及リ朴得範

0722

ノ信頼ヲ得彼ノ吉番兵ニ授擢セラル

該工作員ヲ入団後三月始テ秘密ニ連絡アリ無事村匪

団ニ借入成功セルヲ知ル

次テ該工作員ハ村得ヲ脱リ糧秣及若干ノ彈藥ヲ入手方テ

命令セラル 該工作員ハ村ノ信用ヲ増ス為 某地点ニ石糧

秣彈藥ヲ持来スル 稱工作隊ニ連絡アリシヲ以テ工作隊ニ於

テハ要求ノ如ク我隊人工作員ヲシテ該物資員ヲ轉送匪団

ニ交結ス 之ヲ為 村得ヲ脱ハ 該工作員ヲ益々信用シテ重

陸軍

用るに至る

次予九月二六日ヤ村得勢範ノ該工作員之更ニ多量ノ糧秣ヲ物資ノ
彈藥ノ入午方ヲ命ケル

而テ該工作員ヨリ工作隊ニ連絡アリ九月二十九日夜某時某

地ニ村得勢範及ビ若干ノ部下ヲ之ヲ斃物物資ヲ受領ト稱シ

誘道ナクニワキ之ヲ逮捕スル如ク工作隊ニ連絡シ来ル

工作隊ニ於テハ十數名ノ屈強ナル隊員ヲ匠造技ニ格闘逮

捕ノ基本訓練ヲナシ次テ村匪ヲ誘道ナク来ル地ニ誘ハ

0724

セル地飛ヲ既遣ト夜回教回ニ互リ連絡格闘逮捕ノ刻録ヲ

実施シ周到ニ準備ヲナシタル後九月二十九日迄所定ノ地

ト定メテ互リ該工作員ノ誘惑ヤシキ事トシテ得範及其部下ヲ

一網打盡ニ逮捕ス

三、家裡(青島)教徒ノ利用

家裡教ハ政治家商人農民皆労働者匪賊等有る階

層ニ亘リ教徒アリ其ヲ團結ト相互扶助ノ精神ハ宗教上

甚ク改革因ニシテ而モ相互ノ連絡極ク迅速ナルヲ特徴トス

原 真

故ニ民情ノ偵知對匪工作ノ特ニ情報ノ蒐集等ノ利用等
甚ク有利ナリ

特別工作部長北初中佐自ラ滿洲家裡教徒ノ大々
輩ヲ高聲歐ク懷柔シ民心ノ動向匪階ノ蒐集等

特別工作官施上多大ノ便宜ヲ得タリ

日家裡教徒ノ連絡ノ迅速ナル一例

北都中佐ガ彼等ノ何等ノ連絡ナリ吉林(討伐司令部所

在地)より汽車ニテ教化或ハ延吉方面ニ向テ陽合家裡

教徒ハ沼線ノ驛ニ於テ北部中佐ヲ出迎ヘ所西ノ連絡
 ヲナラガ如キ状況ニシテ彼等カ如何ニシテ我行動ヲ察知シ
 如何ニシテ之ヲ連絡スルヤ不明ナルモ其連絡ノ迅速ナルヲ
 特異ノ異ニ値ス

四、對匪工作並ニ匪賊取扱上ノ為ニテ

1. 投降又ハ帰順シ来レル者ハ之ヲ優遇スルヲ
 投降又ハ帰順シ来レル者ハ前別報ヲ同フテナリ無条件ニ之ヲ
 許可シ良キ人良キ事及ビ被服ヲ與ヘ優遇スルヲ由要ナリ

在 頁

投降帰順せせん 匪賊、粗衣粗食、
 社隊ニ追ひ
 疲勞困備ひし 投降帰順ノ意志アルニ 投降帰順後
 過酷に取扱フ受ケ又ハ殺サル、
 一トク 糧食ハ
 乏シクシテ 生命ヲ保護
 セラレ、
 一トク 知ルヤ 機ヲ見テ 投降帰順、
 匪圍ノ困窮破
 壞ヲ招来スルコトナリ
 本社隊 同帰順、
 投降シ来ルモノハ 前報ヲ同ク、
 無条件ニ之ヲ許シ
 家帰ニ 歸リ度キ 希望ヲ有スモノハ 証明書ヲ出シ、
 保護ヲ加ヘ

證明書ヲ交付シ帰籍セシメ或ハ就職ヲ斡施ス

宗郷ニ帰ルルヲ希望セテ就内隊ト行動ヲ共ニセントスルヲハ特別工

作隊ノ特設隊員トシテ一定ノ給與ヲ普へ帰順工作 對匪隊

並照宣傳情報蒐集等ニ使用シ多大ノ成果ヲ示シ得ル

2 逮捕シ之ヲ逆用セントスル 匪賊頭目等ニ對スル取扱上ノ陸軍事項

逮捕シ之ヲ逆用セテ取捕ヤンカ如キハ愚ノ骨頂ナリ彼等ハ逮捕セラレ

ヤ一般ニ死刑ヲ處ス陪シアルヲ以テ如何ニ拷問スルニ輕重ニ別テ割ルニ

ノニ非ス 第一路軍如言辭旅長林得龍(韓人)逮捕後

陸軍

懷柔ノ爲實施セラルル状況及左ノ如シ

井得勢ヲ逮捕スルヤ、延吉ツレネリタルモ、特別工作班幹部ハ之ニ

面會セズ、解人工作會ヲ作シ、捕解人料理屋ニ誘導スル約一週

間、運糧、酒ト女ヲ喫フ、彼ノ軟化スルヲ待テ、特別工作部長北都

中依自ラ該捕解人料理屋ニ到リ、料ト面會共ニ會合、宿泊ス

此間何事能ク執同セズ、其後數日同称ノ狀態ニテ料理屋ニ

上起居セシム、次ヲ司令部ニツレテ、特別工作部長ト面會セシム

部長等、彼ニ生命ヲ濫殺スルニテ、捕解工作ニ協力スル稱認得ズ

0730

爾後釋業工作員ヲシテ 匪徒ノ情及ニテ 訊問セシメ 彼ノ我ニ

協力ノ意ヲ示スヤ 特設部員ニシテ 敵匪ノ山此等被擄者ノ誘導ヲ

業ヲ化セシム

其後 勅令月ヲ経テ 冬期ニナリ 山佳野員 匪徒執拗ナル 討伐ニ屈シ

シテ 其様方面ヨリ 討伐 国外ニ逃走シ 其行状ヲ 究マラ

特別工作部長リ 村田ヲ配ニ 其旧部下約三十名ヲ 附シ 輕機銃ヲ

與ヘ之ヲ 武裝シ 山佳野員 匪徒ノ 索出 討伐ヲ 命ジ

斯クノ 如キ 場合ニ 於テ ハ 索出 之 我ニ 附シ 其ヲ 附セシガ 本 討伐ニ 工作

負シ借ス不ナリ村得サ思ツニテ自由ニ活動セシムル如ク配
シ
村得サ靴ノ勇躍去動ハ在野員匪ヲ求メテ二週同途
接履々之ヲ打撃キテ其ニテ殺スル其証據トシテ
殺者ノ身及ビテ奉銃ニテ殺遊ソト國ハ殺シ屠邊セリ
村得サ靴ヲ武衣シ工作員ヲ附ス不ナク自由ニ行動セシムル
ニテハ彼ノ逃亡ヲオソレ反毒意見見多カリシモ特別工作部長ハ
断平ハシテ自己ノ責任化ニ於テハ明記ノ如ク知置セリ
後日村得サ靴ノ逃懐セル所ヲ知シ

0732

自外、帰順後種々好過ヲ受ケ生命ハ絶盡ニ保護スルト特

別工作部長ヲ去レタルモ心中之ヲ信スル能ハズ此等之ヲ戦々然々

工作部ヲハ殺サルモノナリト考ヘ居タルモ山内職員匪徒等ノ際

監視ノ工作員ニ附セテ而モ旧部下ヲ或モ其ノ配属セシメ自由

ニ行動セシメラレタル際始メテ工作部長ノ宏大無辺ノ誠意ヲ

了解シ得たり 本誌内同部下中其儘逃亡スルヲ可トスト

申

意見具申セルアリシモ自外ハ工作部長ノ信頼ト誠意ニ

反ク能ハスト部下ヲ諷シ佐等ヲ叱咤督勵山内職員等ノ討伐ニ

精勵セリト

右依リ逮捕セシタルモノノ心理ヲ把握フヲ得ハシ

~~五~~ 投降帰順逮捕又ハ通匪者或ハ我ニ敵意ヲ有ス者ヲ死刑

トスルハ政治的見地ヨリ判断スルトキハ害口アリテ益ナシ

滿洲建國以來通匪者共匪馬賊等処刑セラレタル者多ク教

アルモ結果的ニ之ヲ見ルトキハマイナスト云フヲ信スベシ 即チ

人同一名ヲ殺サバ彼ノ親戚友人等少クモ百名ノ民衆ノ信ヲ失

アルモノニ至リテハ數千數万ノ敵ヲ作ル結果トナルモノナリ

0734

例ハハ國軍軍ニ於テ鯽ノ者北者ノ者長陵某ナルヲ通蘇ノ現

由ニ依リ死刑トセルヲトアリ 然ルニ本省長ハブリヤート蒙古人

ヲ報帝ニ信頼セラルル人物ナリト以テ該省長ヲ死刑ニセル結果

従来日本ニ好意ヲ有セシブリヤート蒙古人ハ日本人ハ恐レキ人同

ナリトシ爾来日本人ヲ好意ニ信頼セラルニ至リ 而テ通蘇

セル一省長ヲ死刑トセル結果金ブリヤート蒙古人ヲ敵トスル結果

ヲ招来シ政治的ニ多大ノ損失ヲ被リ 蘇々ノ如キ事例ハ

救済ヲ遺ル

本誌依同之先人投降帰順速補セシモノハ前非ノ如ク同ノ之ヲ

許シ之ヲ殺スナリ生カシテ能用スルモノハ先結果本誌依補正ノ

進取之律ニ敵軍ノ用兵ヲ破壊シ其河ノ外製ヲ促進シ故再

補正ヲ加進度之極進取ニ其意ハ大ナリ

之ヲ要スルニ難任順来者ニ巡回割スルニ方リテハ難任者トシ一方的

判断ノミニ依ルナリナク敵軍ノ割取者ニ對シ一般民衆ノ如ク之ヲ考ヘ

アカラ良ク判断シ之ヲ實施スルニ要ス 特ニ早ク報復的思想

一般民衆

ニヨリ判断スルニ益ナリ却テ難任順来者ノ反感ヲ排スルニ

政治的之多士ノ撰定トナルヲテ
應上意スルヲ要ス

六

四 西國ノ分裂促進ノ為
採用セシ年履中ニ有效ナル
如シ

人口傳宣傳

敵國ノ難者事ノ避入
ニテ是アル 賭博場、
料理屋、風呂屋

旅館 某之於テ秘密ナリト
稱シ敵國ニ渡シヤス
人間ニ傳フル

トキハ官場ニ敵國
ニ傳ヘラル、モナリ

例ハ心帰順ヲ勸告スルモ
忘セサル 西國中ノ有力
分子其ハ帰順

交渉中ニテ近ク帰順
ナラント 秘密ナル如ク
概ヒ之ヲ傳フルトキハ

之カ巫門之簿リ其人物ハ疑ハク下ナリ巫門ノ團結ヲ破壞シ
カ烈クヲ振ふる結果トナル事多シ

又偽書信ノ利用

右ノ同稱ノ主目ニ依リ某西ニ發シ我方ヨク出ス書信或ハ其西
ヨリ我方ニ送ルル如キ偽書信ヲ作成シ之ヲ通達ス事多シ

此レ地處スニ格ニ置クカ如シ 該書信 巫賊ノ年中ニカキヤ

前項ノ同稱ノ結果トナス

3. 繪画又リ寫眞等ニ依ル歸順ノ宣傳

0738

敵匪帰順之事あり我方より好過ク度ケ良好ニ被服及帰郷

旅費ヲ受領シ郷ニ帰リ一家団欒シテ今ハ事ヲナシ来帰仲書

就復見道ヲ繪画又ハ寫眞トシ飛行機ニヨリ空中ニヨリ或ハ

匪ノ通過ヲ予想スル地点ニ散布ノス

之ヲ本年迄敵匪ノ何事ノ樂事ナシ匪田ノ生活ヲ極ヒ望郷ノ念

ヲ生ジ投降帰順スルニ至ル

朱来日画 續布

匪道ノ東部ノ某ニ春画ヲ散布シ是ヲ之ヲ本年迄見

才奉自備ノ催山ノ中ノ全指ノ殿上匪國ノ逃走又ハ帰順奉

三集

五 情報ノ草紙也

帰順投降匪ヲ調査シ 匪團ノ本部林邊 匪團ノ編成 世衣備

給與、支氣、企圖 匪賊幹部相互ノ感情、彼等ト連絡アリ

却テ悟マシ民衆等ヲ知リ或ハ山中又ハ密林内ニ於テ此地取特

ニ 匪道ヲ誘致シ結集スルヲ 匪ノ潜伏地多ク 敵兵ノ為誘道サ

任セム人等 情報 草紙 集上 工作隊ノ功績ハ多大ナルアリ

0740